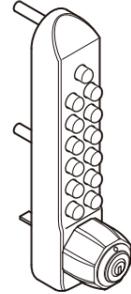
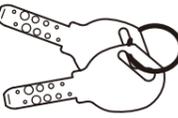




このたびは NAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
 製品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。
 引渡し時に、別紙取扱説明書（お施主様向）を、お施主様へお渡しください。
 締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。
 電動ドライバーは使用しないでください。

梱包内容一覧・表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください。

 ㉑ 22270M 本体 1	 ㉒ 樹脂ベース 厚さ 2.0 mm 2 ここを切り離して使う	 ㉓ MIWA 対応 アダプター 1	 ㉔ 室内丸座 2	 ㉕ 本体固定ねじ M5×30 2 M5×50 2	 ㉖ 取説 set 1	 ㉗ キー 2
---	---	--	---	---	--	--

1 取付前の準備

【1】 現在取り付けてある錠の確認 『MIWA BH』『MIWA DA』『MIWA LA』『MIWA FG』錠であることを確認します。

【2】 記憶番号の確認 ㉑ 22270M 本体にセットされている記憶番号を確認します。別紙 取扱説明書をご覧ください。

【3】 扉の吊元の確認と、㉑ キーレックス本体の調整

右図で開き戸は吊元、引き戸は勝手を確認します。

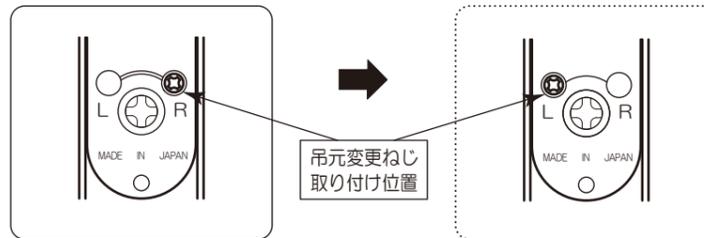


㉑ キーレックス本体は工場出荷時、本体裏の R 位置に吊元変更ねじを固定しています。

BH 右吊元
 DA/LA 左吊元
 FG 左勝手
 そのまま【4】に進んでください。

工場出荷時 BH 右吊元 DA/LA 左吊元 FG 左勝手
 BH 左吊元 DA/LA 右吊元 FG 右勝手

BH 左吊元
 DA/LA 右吊元
 FG 右勝手
 ㉑ 22270M 本体裏の吊元変更ねじを右図のように入れ替えます。
 吊元変更ねじはしっかりと締め付けてください。



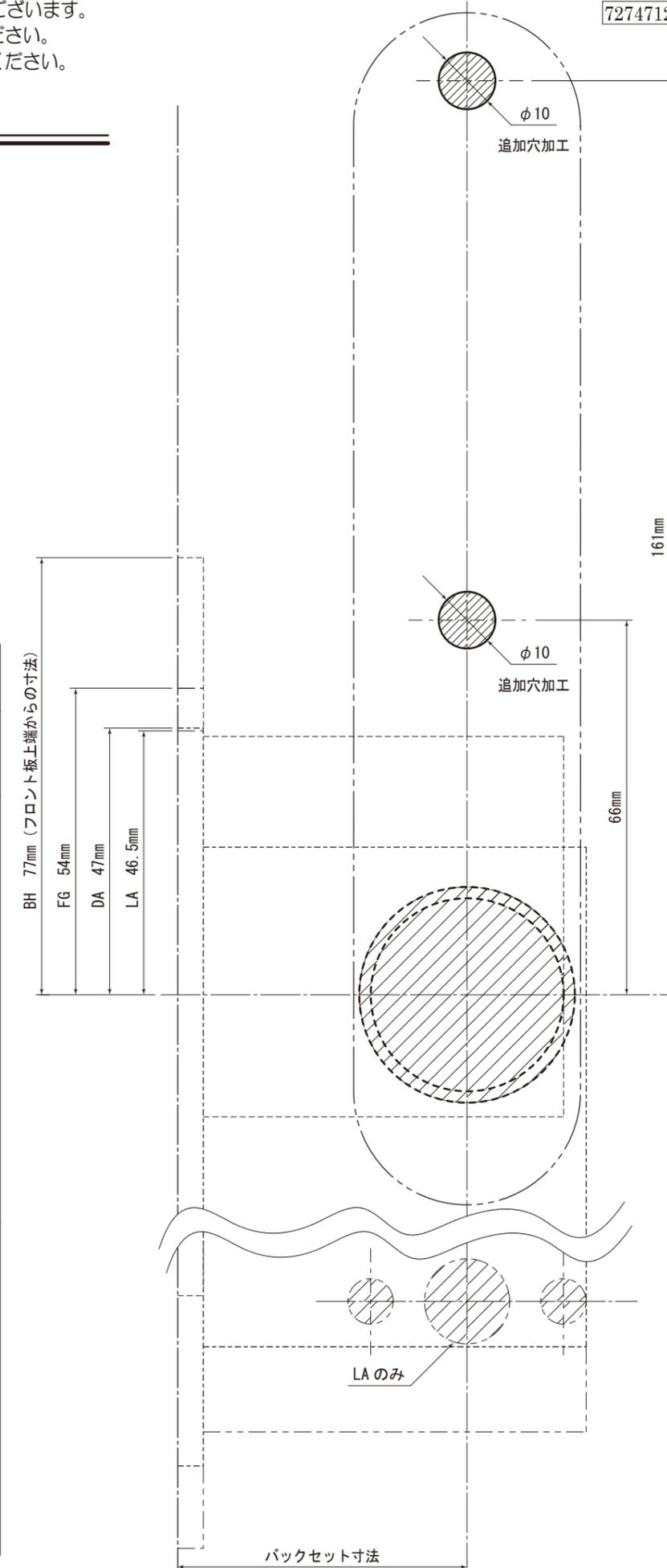
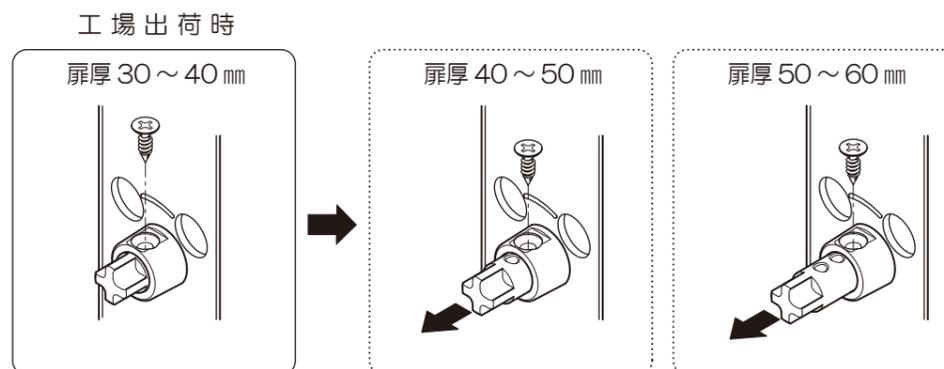
⚠ 吊元変更ねじを逆の状態に取り付けた場合、解錠できなくなります。ご注意ください。

【4】 取付扉厚を測ります。対応扉厚は 30～60 mm です。

㉑ キーレックス本体は工場出荷時、対応扉厚は 30～40 mm です。

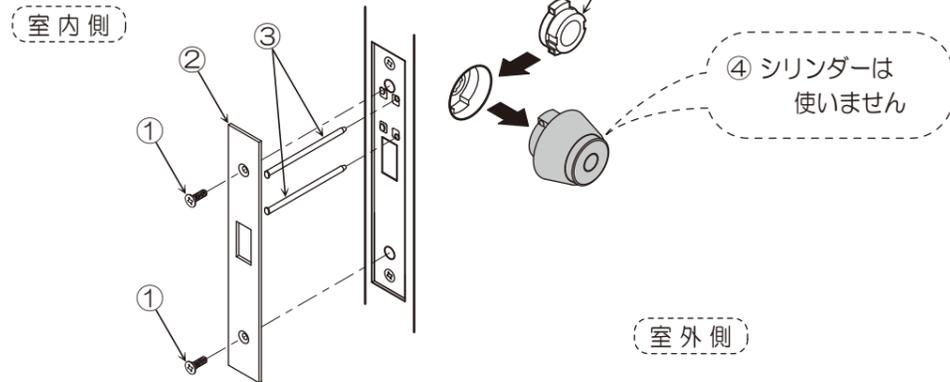
扉厚 30～40 mm：そのまま裏面 ㉒ に進んでください。

扉厚 40～60 mm：㉑ キーレックス本体裏のテールピースを右図のように調整します
 （テールピースの穴位置に注意）。



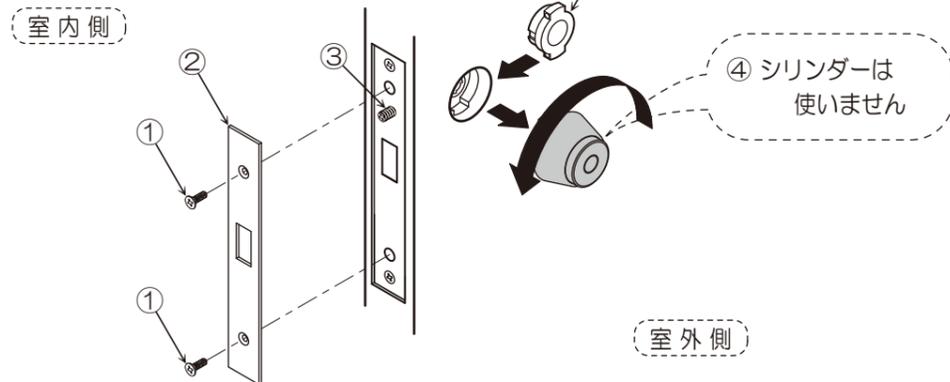
2 既存部品の取り外しとアダプターの取り付け：扉は開けたままの状態、⑤作動確認までをおこないます。

《シリンダー ピン止めタイプ》



- I: ①フロント板固定ねじをゆるめ、②フロント板をはずします。
 II: ③シリンダー止めピン 2本を抜き取り、④シリンダーをはずします。
 (サムターン側はそのままです)
 III: ⑤アダプターをセットし、③シリンダー止めピンを差しこみ、固定します。
 IV: ②フロント板をセットし、①フロント板固定ねじで固定します。

《シリンダー ねじ止めタイプ》



- I: ①フロント板固定ねじをゆるめ、②フロント板をはずします。
 II: 錠中央部の③シリンダー止めねじをゆるめ、④シリンダーを左回転させてはずします。
 (サムターン側はそのままです)
 III: ⑤アダプターをセットし、右回転させて取り付けます。
 IV: 図の向きになるように⑤アダプターを取り付け、③シリンダー止めねじで固定します。
 IV: ②フロント板をセットし、①フロント板固定ねじで固定します。



株式会社 長沢製作所

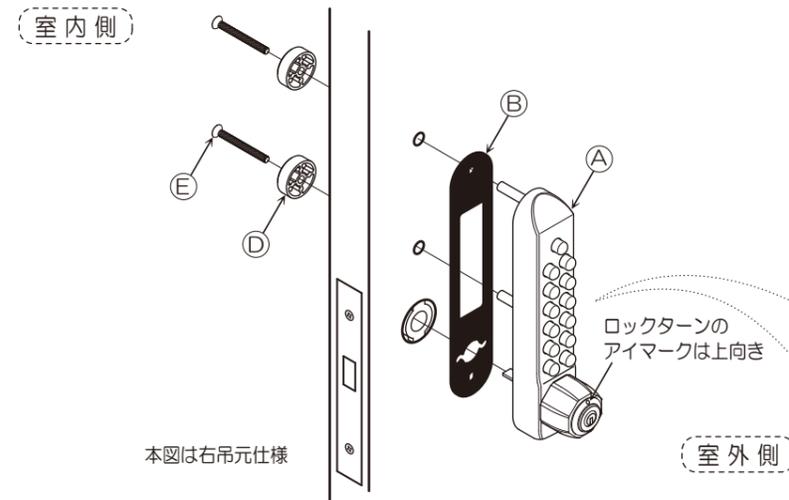
www.nagasawa-mfg.co.jp

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
 FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032
 大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
 FAX. 06-6783-5092

3 扉への追加穴加工

フロント板上端からの寸法とバックセット寸法を確認し、垂直上部へ2ヶ所(裏面切欠き図参照)に、直径10mmの貫通穴を開けてください。

4 キーレックス本体の取り付け



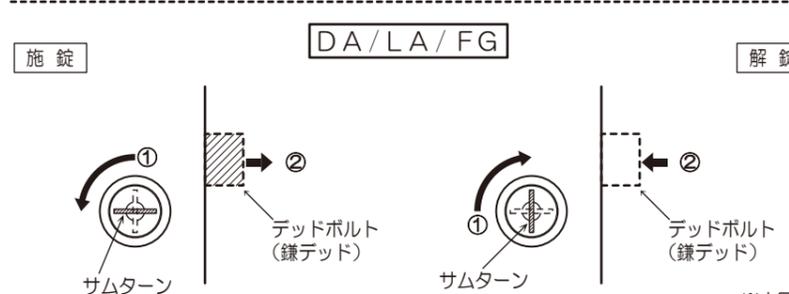
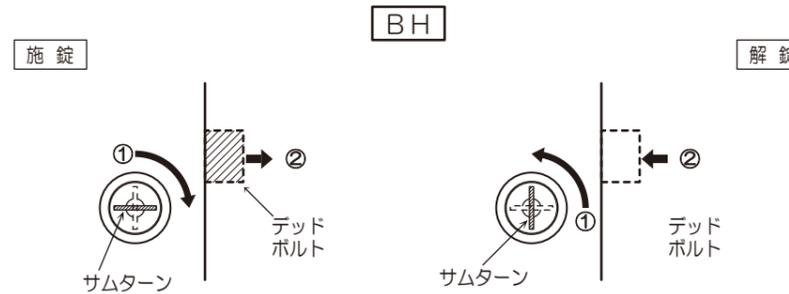
- ※ キーを抜いた状態で取り付けます。
 I: 室外側に①キーレックス本体(ロックターンのアイマークは上向き、吊元変更ねじとテールピース固定ねじの位置をあわせて)、②樹脂ベースをセットします。
 II: 室内側から③室内丸座をセットし、④本体固定ねじ2本で固定します。
 ④本体固定ねじは、扉厚にあわせてお使いください。
 ※ ①キーレックス本体と、扉厚の微調整には、②樹脂ベースで対応してください。

①キーレックス本体裏側【吊元変更ねじとテールピース固定ねじの位置】

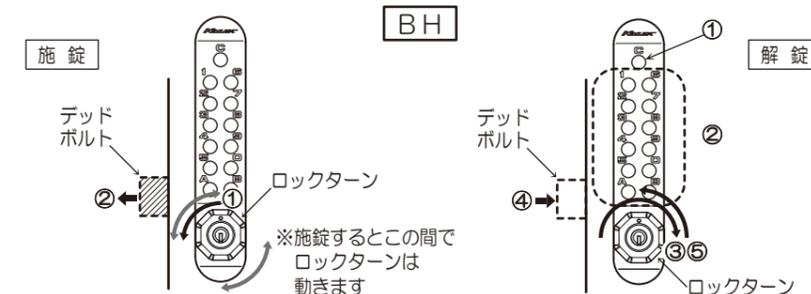


5 作動確認：ロックターン、サムターンが作動しない場合は、記憶番号、テールピースの取り付け位置、吊元変更ねじの位置とテールピース固定ねじの向きを確認してください。

室内側
 施錠：①サムターンを回し、②デッドボルト(鎌デッド)が出ることを確認します。
 解錠：①サムターンを回し、②デッドボルト(鎌デッド)が収まることを確認します。



室外側
 施錠：①ロックターンを回し、②デッドボルト(鎌デッド)が出ることを確認します。
 解錠：①Cボタンを押し、②正しい記憶番号を押しします。
 ③ロックターンを回しきり、④デッドボルト(鎌デッド)が収まることを確認します。
 ⑤ロックターンのアイマークを図の位置に戻します。



※本図は右吊元仕様です。左吊元時は対称です。

鍵付タイプですので、ボタン操作を行わずにキー操作で施解錠できます。施錠：①シリンダーにキーを入れて回し、②デッドボルトが出ることを確認します。解錠：①シリンダーにキーを入れて回し、②デッドボルトが収まることを確認します。